

成田空港の拡大と増便

静穏な時間が7時間から4時間30分へと大幅に短縮

国と成田国際空港株式会社が「国際競争力の強化」を理



由に、「機能強化」と称して、滑走路の増強と夜間飛行制限緩和を持ち出してきた。しかし、3月13日、国と会社、千葉県と地元市町の4者で「確認書」を交わし、実際に着手しようとしています。日本共産党は5月21日、国土交通省に撤回を求めました。

発着枠50万回へ
滑走路を3本に

国土交通省から聞き取りを行う（右から）齊藤和子前衆院議員、浅野史子・椎葉幸幸両党県副委員長、山添拓参院議員、畑野若枝衆院議員、手前は丸山慎一県議

滑走路の増強では、「B滑走路を北側に1000m延伸して3500mにする」「新たに3500mのC滑走路を

増設する」としています。年間発着枠は現在の30万回から50万回に拡大します。そのために夜11時から朝6時の現行の夜間飛行制限を変更し、空港全体の発着時間を「朝5時～深夜0時30分」とします。もしこれがそのまま実施されれば、静穏な時間がこれまでの7時間から4時間30分に大幅に短くなります。

国と住民団体との
約束を無視

自治体首長による確認書に

日本共産党が安倍内閣退陣を求め街頭演説



安倍内閣は国民に嘘をつく内閣だということが明らかに。安倍総理は、憲法改定さえも国民をごまかして進めようとしています。

自衛隊を憲法9条に書き込む改定について安倍総理は「何にも変わらない」と繰り返していますが、これによって自衛隊は「軍隊を持たない」ことを決めた9条の例外として、つまり「軍隊」として動き出すことになります。日本が「戦争をしない国」から「する国」に根本から変わる憲法改定を、「何も変わらない」とごまかして強行することは絶対に許せません。

森田知事も著書の中で、「どんなにきれいごとを言おうと、現実の国際社会の平和は力の均衡の上に成り立っている。殴られたら殴り返すという気概を持たない国は平和を保てない」などと述べており、安倍総理と根っこは一緒だと指摘しました。



防衛省から聞き取りを行う（右から）浅野史子党副委員長、齊藤和子前衆院議員、丸山慎一県議

自衛隊木更津駐屯地が駐機場を増設
オスプレイによる使用を否定せず

陸上自衛隊木更津駐屯地の駐機場の増設が5月22日の日米合同委員会でも合意され、今年度工事が行われ

住民の暮らしと健康を第一にすべき

シンガポール、中国などで空港の大規模化が進められており、「生き残りのために避けられない」と述べました。

反対を押し切って成田空港をつくったときの最低限度の約束となってきました。にもかかわらず経済や国策を理由に住民の暮らしや健康を犠牲にすることは許されません。そもそも、住民が多数暮らししている内陸に無理矢理国際空港をつくったのは国であり、こうした事態になることはわかっていたはずで

参加者は、「住民の暮らしを第一に考え、開港当初の約束は守られなければならない」と厳しく撤回を求めました。

意には反しません。参加者から「自衛隊のオスプレイが使うことはないのか」との質問が出されたが、「いまはCH47の

増設する理由として防衛省側は、「増設する駐機場はCH47ヘリコプターが利

用する。いまの駐機場が運

用上手狭になったので増設

して使い勝手を良くするた

め」と回答。しかし日米合

同委員会での合意には「陸

上自衛隊施設（駐機場）を

増設する用地として使用す

るため」としか理由が書か

れていないため、CH47

以外の機種が使用しても合

意には反しません。

参加者から「自衛隊のオ

スプレイが使うことはない

のか」との質問が出され

たが、「いまはCH47の

ために駐機場を増設する

しか言えない。日々の運

用についてはわからない」と

の回答で、オスプレイの使

用を否定しませんでした。

増設は2016年度予算

に調査費0・5億円を計

上。2017年度予算に工

事費12億円が計上されて

いましたが、日米合意が遅

れたため今年度の工事と

なったものです。